

# その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.126

## a taste of Ya'ssy

### 田中 康夫



たなかやすお ● 56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。『文藝』（河出書房新社）2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>

## 人間を使い捨て、文化・伝統を“価値ゼロ”とする金融資本への異議申し立て

### 今週の逸品



ブリの照り焼き  
アラカルトで1人8000円見当

乃木坂周辺には聖パウロ女子修道会が、多国籍企業が同居のミットタウン近郊の場所にはフランシスコ会聖ヨゼフ修道院が存在。教会の金権腐敗と闘った清貧の聖人の名を冠する現教皇のミサは前任者の3倍強と期待を集める。

【坊垣】東京都港区赤坂9-6-42 ☎03-3478-5020 営業17:00~23:00(LO22:00)  
水曜定休 禁煙 カード不可

illustration by Hajime Anzai

第266代ローマ教皇フランシスコは昨年11月26日、自ら筆を執って使徒的勅告「福音の喜び」エヴァンジェリイ・ガウディウム」を發布します。

同日付「ワシントン・ポスト」は「教皇フランシスコ「トリクルダウン経済」を批判」と題し一面で「拡がる貧富の格差と市場経済の行き過ぎを厳しく指摘」と報じ、「ウォールストリート・ジャーナル」も「教会は弱者救済を、ローマ教皇 経済的不平等を批判」と長尺の記事を掲載しました。

グローバル資本主義が生み出した社会的な不正を慨嘆する228節に及ぶ文書の中で教皇は、「風雨に曝され高齢のホームレスが息絶えても報じられず、他方で株価の2ポイント下落が何故ニュースたり得るのか」と述べます。

「多くの人は貢献すべき仕事を得られず、挑戦すべき機会も与えられず、その状態から抜け出る事すら叶わぬ中で排除され、疎外され、「人間もその存在自体、使用後には即廃棄に至る消費財と見なされている。斯くなる“使い捨て”

文化を我々は生み出し、而も急速に蔓延しているのだ」

その上で教皇は、ブエノスアイレス大司教だった時分から繰り返し述べていた「告解部屋は拷問部屋であってはならず、「貧しい人のための、清貧な教会」たるべく中央集権制・聖職者主義を見直し、司祭の説教も道徳主義・教化主義から脱却し、自ら傷付き・痛みを知り・時に汚れるようにも人々を救済し希望を与えるべく「教会は街に出よ」と復讐します。

富める者が更に富めば、貧しき

者にも富が滲透すると唱えるレーガノミクスに象徴される新自由主義のトリクルダウン理論は強者の論理に他ならず、との隠喩です。

その直後にバラク・オバマ大統領も教皇の言葉を引用し、「所得をめぐる不平等の拡大傾向と社会的流動性の減退傾向が、アメリカン・ドリームの実現や、世界の中で米国が象徴する理想を危うくする脅威となっている」と演説。「思慮深く情熱的な平和と正義の使者」と3月にヴァチカン市国で初会談すると表明しました。

それは、ロナルド・レーガノミクス・レーガン大統領とポーランド出身のヨハネ・パウロ2世が共闘し、東側諸国の共産主義を瓦解させた冷戦末期とは「真逆」の使命感と言えましよう。

資本が自由に国境を超え、事業展開する国に税金を支払わぬ多国籍改め無国籍なモンスター企業が国民国家「ネイション・ステート」よりも上位に立って消費者「国民」を差配し、社会や家族の人間関係や文化・伝統といった「市場では数値に換算出来ない物」は価値ゼロだと捉える金融資本主義への異議申し立てなので。

「坊垣」は日本料理を伊賀焼の陶器で供する乃木坂の隠れた逸軒。往々にして価額の付けられぬ、が、であればこそ逆に価値が高まる、深遠なる陶芸の世界を垣間見るに相応しき時空と言えましよう。

